

ハンガリー経済・金融概況
Main Economic & Financial Indicators (Hungary)

経済調査室
Economic Research Office
(照会先：石原尚子 naoko.ishihara@uk.mufg.jp)

概況	消費
<p>ハンガリー経済は、外需の鈍化、内需の落ち込みを背景に一段と悪化している。第 2 四半期の成長率は前年比▲1.2%（前期比▲0.2%）と 2 期連続で前期比マイナスとなった。VAT 税率の引き上げ、依然として重い外貨建ローンの返済負担など個人消費を巡る環境は厳しい。銀行の資金調達環境の悪化や銀行部門への課税などを背景に、銀行は貸出姿勢を引き締めている。これらが個人消費及び企業投資の落ち込みの原因となっている。2013 年の金融取引税の導入によって銀行の利益が一段と圧迫されるため、銀行貸出はさらに減少する可能性が高い。一方、インフレの推移を見ると、内需の低迷を受け需要サイドからのインフレ圧力は後退しているが、供給サイドではエネルギー、穀物などの価格上昇を背景にインフレ圧力は強まっている。VAT 税率引き上げの影響も加わりインフレ率は高止まっており、個人消費を更に抑える要因となっている。</p> <p>昨年 11 月の申請以来、難航していた IMF/EU との融資交渉は 7 月 17 日ようやく始まった。しかし 2013 年から導入される金融取引税の対象に中銀が含まれるため、事前協議を要求する IMF/EU とハンガリー政府の対立が表面化しており、交渉が中断する可能性も出ている。IMF/EU との融資交渉の難航の前に資金流出への懸念が再び浮上している。</p>	<p>6 月の実質小売売上（営業日調整済）は前年同月比▲1.7%と 3 カ月連続でマイナスの伸びとなった。詳細を見ると、食料品の売上はプラスの伸びを維持する一方、耐久消費財及び燃料などの売上げが減少し、全体の売上を押し下げた。財政緊縮策の実施に伴う社会保障手当の削減、物品税及び VAT 税率の引き上げ、失業率の高止まり、さらにはインフレ率の上昇に伴う実質賃金上昇率の低下など、消費を巡る環境は引き続き厳しい。</p> <div data-bbox="869 645 1436 1030"> <p>(前年比、%) 小売売上、消費者心理、実質賃金</p> <p>(注)小売売上は営業日調整済、消費者信頼感指数は季節調整済 (資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>
GDP	物価/政策金利
<p>第 2 四半期の実質 GDP 成長率（速報値）は前年同期比▲1.2%（前期比▲0.2%）と前期に続きマイナス成長となった。2 期連続の前期比マイナス成長となり、ハンガリーは事実上景気後退局面に陥ったことになる。銀行貸出の減少や強い景気の先行き不透明感を背景に投資の落ち込みが進んだことに加え、個人消費の低下トレンドが続くなど内需の落ち込みも深まっている。外需についても欧州債務問題の深刻化からユーロ圏向け輸出を中心に減速傾向にある。</p> <div data-bbox="183 1355 718 1724"> <p>(前年比、%) 実質 GDP と需要項目別寄与度</p> <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p> </div>	<p>7 月の消費者物価上昇率は前年同期比 5.8%と食料品及びアルコールを含む飲料品価格の上昇ペースが加速したことを主因に、前月から 0.2%ポイント上昇した。今年初めの VAT 税率の引き上げ、7 月から実施された通話料金への課税は将来的に通話料の引き上げという形で消費者に転嫁される可能性が残るほか、フォロント安に伴う輸入価格（特に燃料価格）の上昇など供給サイドからのインフレ圧力は根強いことから基調は依然として上向きにある。近い将来中銀の目標値である 3%を下回る可能性は低いであろう。</p> <p>一方、8 月 28 日の金融政策委員会において中銀は政策金利を 0.25%ポイント引き下げ 6.75%とした。IMF との融資交渉が始まり市場の警戒感が後退したことが利下げを可能にした。ハンガリーが景気後退に陥る中、EU 諸国の中でも高水準にある同国の政策金利の更なる引き下げを求める声は強い。しかし、IMF との融資交渉では、2013 年から実施される金融取引税の対象に中銀が含まれている点に IMF が異議を唱えるなど、双方の間の溝は依然深く、難航する可能性が高いとみられている。つまり、市場の警戒感が再び強まるリスクが残る中、中銀が足元の景気状況に沿って積極的に利下げを実施できる環境にないのが現状のようだ。</p>
生産	国際収支
<p>6 月の鉱工業生産（稼働日調整済）は前年同月比+0.6%と、前月に引き続きプラスの伸びとなったが、足元の内需の落ち込み及び外需の勢い鈍化を考慮すると基調はむしろ弱いといえよう。8 月の製造業の購買担当者指数（PMI）は、49.5 と前月の 51.8 から悪化、拡大・縮小を分ける 50 を下回った。新規受注及び輸出の PMI 指数が大きく悪化したことが背景にある。IMF との融資交渉の遅れに伴うフォロント安が、ある程度輸出減少の歯止めになっていたものの、主要輸出先であるユーロ圏からの需要が弱まる中、これまで底堅く推移してきた鉱工業生産は今後、減少トレンドとなる可能性が高い。</p>	<p>第 1 四半期の経常収支は 2.4 億ドルの黒字となり、前年同期の 4.6 億ドルから減少した。ハンガリー政府の財政赤字削減策が不十分であるとの理由から EU 基金からの資金移転が一時的に停止されたことで移転収支が赤字に転じたこと、並びに、政府の不透明な経済政策に対する投資家の警戒感の強まりから、ハンガリーで再投資されずに本国送金された配当金が増加し、所得収支赤字が増加したことが黒字減少の背景にある。</p> <p>資本収支をみると、第 1 四半期は 27.7 億ドルの赤字と赤字幅は前期の 14.0 億ドルから拡大している。政府のポピュリスト的な経済政策に対する市場の懸念及び景気先行きに対する懸念を背景に国外への資金流出トレンドは続いている。</p>

ハンガリー経済・金融概況

1. 年、四半期

	2009	2010	2011	11/Q2	11/Q3	11/Q4	12/Q1	12/Q2	
名目GDP実額 (10億米ドル)	126.8	128.5	139.6	37.1	36.9	34.7	28.7	-	
実質GDP成長率 (y/y, %)	-6.8	1.3	1.7	1.4	1.4	1.4	-0.7	-1.2	
(民間消費支出) (y/y, %)	-6.4	-2.2	0.1	-0.1	0.2	0.0	-0.7	-	
(総固定資本形成) (y/y, %)	-11.0	-9.7	-5.3	-7.6	-7.6	-4.5	-6.6	-	
鉱工業生産(稼働日調整済み) (y/y, %)	-17.2	10.3	5.7	4.5	2.0	4.5	-1.5	-	
小売売上(実質、営業日調整済み) (y/y, %)	-5.1	-2.3	0.2	0.0	-0.2	0.0	1.3	-	
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	-3.7	3.3	-0.8	-6.6	1.1	-0.8	-2.1	-6.3	
消費者物価上昇率 (y/y, %)	4.2	4.9	4.0	4.1	3.4	4.1	5.6	5.5	
平均賃金上昇率 (y/y, %)	0.6	1.4	5.2	5.8	6.1	7.4	4.4	4.3	
失業率*	(%)	9.8	11.1	11.0	11.1	10.8	10.7	11.5	11.2
貿易収支* (百万米ドル)	5,299	9,842	9,528	2,449	2,178	2,025	2,285	2,441	
輸出額 (百万米ドル)	82,572	111,218	111,041	28,422	27,981	27,281	26,266	25,862	
輸出伸び率 (y/y, %)	-23.7	34.7	-0.2	0.0	-0.1	-0.3	-4.0	-9.0	
輸入額 (百万米ドル)	77,274	101,375	101,513	25,973	25,802	25,256	23,981	23,421	
輸入伸び率 (y/y, %)	-29.0	31.2	0.1	0.0	0.2	0.0	-2.0	-9.8	
経常収支 (百万米ドル)	-85	1,555	2,005	722	636	184	237	-	
資本収支 (百万米ドル)	8,294	4,750	6,172	1,439	2,415	-1,404	-2,772	-	
対内直接投資(百万米ドル)	2,217	2,402	3,978	-768	-404	5,270	4,836	-	
外貨準備高 (百万米ドル)	44,074	44,849	48,681	53,445	52,344	48,681	46,119	44,599	
対外債務残高 (百万米ドル)	202,354	189,431	181,513	202,793	208,901	181,513	169,581	-	
株価指数	21,227	21,327	16,974	22,694	15,775	16,974	18,636	17,341	
短期金利(interbank BUBOR 3m)	8.63	5.50	6.19	6.10	6.09	6.54	7.42	7.21	
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields)	9.12	7.28	7.64	7.13	7.49	8.46	8.95	8.47	
Forint/USD	202.01	208.17	201.18	185.10	194.94	225.68	226.43	229.24	
Forint/Euro	280.31	275.38	279.40	266.39	274.98	303.83	296.65	293.90	
Forint/GBP	314.68	321.36	322.20	301.82	313.53	354.64	355.57	362.60	

2. 月次

	12/01	2	3	4	5	6	7	8
鉱工業生産(稼働日調整済み) (y/y, %)	-1.7	-3.6	0.7	-2.9	2.4	0.6	-	-
小売売上(実質、営業日調整済み) (y/y, %)	0.6	-1.4	0.9	-2.7	-2.5	-1.7	-	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	-3.4	-5.1	-2.1	-3.5	-3.3	-6.3	-	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	5.5	5.8	5.5	5.7	5.2	5.6	5.8	
平均賃金上昇率 (y/y, %)	3.9	6.8	2.6	2.5	6.4	4.1	-	-
失業率*	(%)	11.1	11.6	11.7	11.5	11.2	10.9	10.5
貿易収支* (百万米ドル)	532	970	783	573	890	978	-	-
輸出額 (百万米ドル)	8,114	8,787	9,365	8,125	9,037	8,700	-	-
輸出伸び率 (y/y, %)	0.5	-3.4	-8.1	-11.1	-8.7	-7.3	-	-
輸入額 (百万米ドル)	7,582	7,817	8,582	7,552	8,147	7,722	-	-
輸入伸び率 (y/y, %)	0.3	-1.3	-4.7	-11.3	-8.4	-9.8	-	-
株価指数	18,891	19,287	18,636	18,235	16,100	17,341	17,408	17,514
短期金利(interbank BUBOR 3m)	7.54	7.42	7.29	7.24	7.21	7.20	7.19	7.12
EU調整長期金利(Govt.10y bond yields)	9.51	8.60	8.73	8.77	8.33	8.30	7.56	-
Forint/USD	238.34	219.33	221.28	224.09	229.64	233.95	232.90	224.78
Forint/Euro	307.18	290.25	292.23	294.84	293.67	293.22	286.13	278.84
Forint/GBP	369.61	346.58	350.10	358.46	365.30	363.79	363.03	353.40

(注)失業率は3カ月移動平均。貿易収支は通関データ。

(資料)ハンガリー中央銀行、Bloomberg、ユーロスタット他

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいませ。宜しくお問い合わせ下さい。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。